

令和2年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

長野県

行事名称	善光寺消防演習（文化財防火デー）
実施期間・日時	令和3年1月26日（火） 午前9時30分から午前10時40分まで
実施場所	善光寺本堂周辺、六地藏南
主催者	長野市消防局、長野市消防団、善光寺

■実施内容

訓練の想定

長野県北部を震源とする最大震度7の地震が発生し案内所から出火、本堂への延焼危険があることを想定。

訓練の内容

(1) 消防体験

善光寺付近一帯に参加を呼びかけ、主に宿坊関係者に向けて火災予防啓発のため消火訓練や煙体験を実施。

(2) 消防演習

地震により火災が発生し善光寺本堂へ延焼の危険があると想定した、善光寺関係者及び消防機関が一体となった消防演習を実施。

参加者及び役割分担

消防局 50名：情報収集・伝達訓練、本部設営訓練、救出訓練、一斉放水訓練

消防団 22名：情報収集・伝達訓練、本部設営訓練、中継送水訓練、一斉放水訓練

善光寺 30名：通報訓練、情報収集訓練、本部設営訓練、初期消火訓練、避難誘導訓練、コロナ対応救護所設営訓練、重要物品搬訓練、一斉放水訓練

特に工夫した点

コロナ禍なので、参加人員を極力減らし例年本堂を主会場としていたが、隣接する山門で行い「密」を避け、救護所ではマスクの着用と検温、手指消毒を行い、感染症対策を意識した訓練を行った。消防団と消防局では中継送水を行い相互の連携強化を図った。

問題点・課題

コロナ禍で実施場所や参加人数が限られており、訓練内容や開催方法の組み立てに苦労した。コロナウイルス感染拡大状況により実施が中止の判断が難しかった。また、毎年、訓練内容がマンネリ化してしまい今後の課題である。

その他

毎年文化財防火デーに合わせて宿坊の消防訓練と市民向けに消火器の取扱いや煙体験の消防体験を行っており、市民一人ひとりに文化財愛護思想の普及と防災への意識の高揚を図っている。また、来年は「御開帳」の年にあたり、多数の観光客が訪れるため、それに対応した訓練を検討することが必要である。

訓練風景

